



カ
リ
以
後
初
之
ヲ
為
ス
ヲ
原
則
ト
シ
テ
其
効
力
ヲ
示
ス

大隈閣官殿

杜密院書記官

明治三十三年五月六日

傳送及員也

御送附美様同大臣、命ニ依リ御

司法大臣提出参考書士冊

行政裁判法并ニ訴願法ニ関ス



114
2393
1



行政裁判所ノ管轄ニ屬スルモハ公法ヨリ生
ラサレ行政吏ノ委任ニ依リテ完結スルハ合議體ノ設
テ決定ヲ行政吏ニ依リテ完結スルハ合議體ノ設
氏ヨリ議負ヲ選舉シテ完結スルハ合議體ノ設
件ノ裁判所即チ行政裁判所ノ設置ニ行政事件ノ一分ハ人
ル裁判所即チ行政裁判所ノ設置ニ行政事件ノ一分ハ人
シメサルヲ以テ不羈獨立ナル者ヲ立會ハレハ
其裁判ヲ任スルハ危險ニ立テ且人氏ヲ満足セ
ノ毀損ヲ保護スルニ羈獨立ナラサル官吏ニ
憲法施行後官吏ノ氣儘ニ羈獨立ナラサル官吏ニ
ル抗告ハ最初行政廳ノ管轄ニ屬セシメタルモ
ニ記載セズ公法ヨリ生スル權利ノ毀損ニ関ス

ニ於テハ是迄此原則ヲ遵奉セリヨシ子李國
々法律第二卷百八十八頁(國廳ニ為ス抗告ニ付テハ
松法ヨリ生スルモ七ノ即チ司法裁判所ニ為ス抗
告及ヒ千八百八十三年七月三十日地方制度法
ニ規定スルモノヲ除外ナリテ國廳(リヨシ
四日ノ布告ノ定ムル所ニ依リテ
狹義ノ訴願モ亦抗告ト同一ニテ國廳(リヨシ
子國法第二卷百八十八頁及國會ニ之ヲ為シ得
ル十リ
抗告權ハ公法又ハ私法ヲ問ハス權利ヲ保護ス
ル為メ之ヲ行フ得私法上ノ權利毀損ヲ抗
告ニ依リ回復ス可キモハ司法裁判所ノ管轄
ニ屬セシムル故令日ノ問題外ニ涉ルヲ以テ茲

人ル請求及ヒ義務ニ関スル事
七十五年七月三日行政裁判所
ス此精神ハ千八百八十三年
條ト同一ナル記載ナキモ消滅
ス(ア)ラウビワケ地方制度第
十五年中ノ法律ニ依リ行政裁
ル事件中一定ノ法則ニ依ラ
込ヲ以テ處分スヘキモ多分
キ人警ハ八身分取扱吏所報
八百八十五年八月一日推
号第百五十四條第三号等ヲ
結セシムル事件ト為セリ決定
ノ重要ニシテ合議ノ決定ヲ至
ノハ重要ニシテ合議ノ決定ヲ

其他ノ事件ハ行政吏ノ管轄ト
ニ付キ一定ノ原則存セス單ニ
ニ從フナリ
右ニ依リ行政廳ノ處分ニ對ス
種類アリ行政裁判所ニ為ス
參事會ニ為スモノ及ヒ行政官
ナリ
右ノ外監督官廳カ其配下ノ官
分ヲ廢棄シ又ハ其官廳ニ指令
ノ方法ニ依ラサルナリ(八十
十條第三項)茲ニ屬スルモノ
事務延滞等ナリ

五月五日

參事官本多康直

